

CSRへの取り組み

きらやか銀行

きらやか経営者セミナーの開催

平成25年6月に「第4回きらやか経営者セミナー」を開催いたしました。当行では、全営業店のお取引先経営者及び後継者等を対象に、著名講師による講演会と懇親パーティーを開催しました。このセミナーは、今後の企業経営のヒントとなるような研修の場を提供すると共に、当行とお客さま同士の交流を通して、当行が掲げる「お客様と共に生きる」の具現化を図ることを目的としています。セミナーは2日間の日程で行われ、参加者は550人を越えました。

【セミナー講師陣】

- 読売テレビ報道局
岩田 公雄 氏
- ㈱サニーテーブル
高橋 滋 氏
- 女優・歌手
浅岡 ルリ子 氏
- ブックオフコーポレーション㈱
橋本 真由美 氏



じもとのスポーツ振興活性化 きらやか銀行硬式野球部

きらやか銀行硬式野球部は、業務との両立を図りながら精力的に活動しております。夏季は都市対抗野球大会や社会人野球日本選手権に向け連日練習に励み、山形県のスポーツ振興の活性化の一翼を担っております。また、冬季は小・中・高・大学生を対象とした野球教室を行うなど、積極的に地域のスポーツ振興に寄与しております。



第19回JABA東北地区連盟会長旗争奪野球大会優勝（写真提供：毎日新聞様）

地域の教育を支援 「財団法人 きらやか銀行教育福祉振興基金」

財団法人 きらやか銀行教育福祉振興基金は教育・学術の振興及び社会福祉、交通安全施設・生活環境の拡充整備等に助成を行い教育水準の向上並びに地域社会に貢献することを目的としております。

なかでも「くらしの文集」発刊はくらしを見つめ、考えたことや感じたこと、経験したことなどを文章にすることによって子供たちの生活に潤いを持たせ、表現力の向上を図ることを目的としております。「くらしの文集」発刊は平成24年度で30周年を迎えました。



「くらしの文集」贈呈

地域社会発展への貢献 モンテディオ山形へチーム強化費を贈呈

きらやか銀行は、平成24年3月より取扱い致しました「モンテディオ山形応援定期預金2012」において、預入残高の0.01%相当額をモンテディオ山形へチーム強化費として寄贈いたしました。贈呈式当日は当行がマッチデースポンサーとなり「きらやか銀行GO!GO!応援マッチ」を開催し、試合を盛り上げました。きらやか銀行はこれからも様々な形でモンテディオ山形を応援してまいります。



モンテディオ山形へチーム強化費贈呈

仙台銀行

移動店舗「どこでも窓口」 被災地を巡回営業中

当行では、沿岸部の営業店が津波で全壊し、現地での店舗再開に至っていない地区があることから、トラックを改良した移動店舗「どこでも窓口」を導入し、津波被災地での巡回営業を行っております。

この「どこでも窓口」には、簡易窓口とATMを搭載しており、現在、石巻市（雄勝地区）と南三陸町（歌津地区、志津川地区）の3地区を毎週巡回し、被災地のお客さまの利便性回復に努めております。



津波被災地を巡回「どこでも窓口」

被災地の住民活動を支援 公益信託「まちづくり基金」

当行は、公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を通じて、被災地の住民コミュニティ再生など、地域の復興に向けて積極的に活動しているまちづくり団体や個人の方々に助成金を交付し支援しております。

平成24年度は、被災地復興に取り組む団体を含む10先に対して、総額100万円を助成いたしました。平成25年度の助成金申込みは、平成25年4月から9月末まで、当行本支店窓口で受付けております。



平成24年度助成先 南町二区街創り勉強会

宮城の経済復興を強力支援 地元企業応援部

当行の地元企業応援部は、被災企業への様々な復興支援に取り組む専門部署であり、現在、企画室・サポート室・推進室の3室、60名体制で復興支援に取り組んでおります。

仙台本店のほか、古川分室、岩沼分室、石巻分室、佐沼分室を設け、各分室には、事業再生担当と復興融資担当の職員が常駐しております。石巻や岩沼など、津波被災地に支援拠点を設置することで、被災企業の復興相談等にきめ細やかに対応しております。



復興支援専門部署「地元企業応援部」

宮城の若手経営者を育成 仙台銀行ビジネスクラブ

当行取引先で構成する仙台銀行ビジネスクラブは、ビジネスセミナーや交流会、商談会等を通じて、宮城の若手経営者や企業後継者の育成に取り組み、会員企業の事業継承・発展に積極的に貢献しております。

平成25年2月に仙台市で開催した「第15回講演会・交流会」には会員335名が参加。企業PR展示に30社、「食」をテーマにした試食品・食品展示には6社が出展し、会員間でのビジネスマッチング商談が行われました。



平成25年2月開催「講演会・交流会」